

平成21年度 選挙管理委員会事務局 行政改革マニフェスト 自己検証シート

1) 目標と成果

マニフェストNo.	項目名 (担当部署)	集中改革プラン 項目No.	取り組み内容	区分	成果指標						活動指標①					活動指標②					自己評価		
					-	H17	H21 (6月)	H21 (9月)	H21 (12月)	H21 (最終)	-	H17	H21 (6月)	H21 (9月)	H21 (12月)	H21 (最終)	-	H17	H21 (6月)	H21 (9月)		H21 (12月)	H21 (最終)
①	開票事務の迅速化 (選挙管理委員会事務局)	7-2	市民にいち早く選挙結果の公表を行うために、正確性を基本とした効率的で迅速な開票事務を目指し、開票事務を見直し、その改善策による事務従事者説明会での説明の徹底を図ることにより、衆議院小選挙区選出議員選挙、衆議院比例代表選出議員選挙における開票確定時間の短縮に取り組まします。	指標名	衆議院小選挙区選出議員選挙						開票事務職員及び開票立会人への説明の回数					-					D		
				指標の算式等	-						-					-							
				目標(A)	-	-	1時間 30分	1時間 30分	1時間 30分	1時間 30分	-	1回	1回	1回	1回	1回	-	-	-	-		-	-
				実績(B)	-	3時間 30分	-	2時間	2時間	2時間	-	1回	0回	1回	1回	1回	-	-	-	-		-	-
				(A)と(B)の比較	-	-	-	30分	30分	30分	-	0回	▲1回	0回	0回	0回	-	-	-	-		-	-
				指標名	衆議院比例代表選出議員選挙						開票事務職員及び開票立会人への説明の回数					-							
				指標の算式等	-						-					-							
				目標(A)	-	-	2時間	2時間	2時間	2時間	-	1回	1回	1回	1回	1回	-	-	-	-		-	-
				実績(B)	-	4時間	-	2時間 10分	2時間 10分	2時間 10分	-	1回	0回	1回	1回	1回	-	-	-	-		-	-
				(A)と(B)の比較	-	-	-	10分	10分	10分	-	0回	▲1回	0回	0回	0回	-	-	-	-		-	-
②	投票率の向上 (選挙管理委員会事務局)	7-2	投票率の向上に向けて、投票の啓発に努め、チラシの配布、広報、CATV等の媒体をとおして市民に解りやすい啓発周知に取り組まします。	指標名	投票率(小選挙区)						啓発チラシの配布					広報車による街宣放送					C		
				指標の算式等							選挙日及び期日前投票の周知のチラシを内容を精査し全戸配布する					市内市街地を中心に広報車による選挙の周知							
				目標(A)	-	-	-	-	-	-	1回	1回	1回	1回	1回	-	2回	3回	3回	3回		3回	
				実績(B)	-	77.81%	-	78.0%	78.0%	78.0%	-	1回	0回	1回	1回	1回	-	2回	0回	5回		5回	5回
				(A)と(B)の比較	-	-	-	-	-	-	-	0回	▲1回	0回	0回	0回	-	0回	▲3回	2回		2回	2回

2) 取組過程と取組み後の対応

区分	チェック項目	自己評価	自己評価について(所見)
取組過程	取り組みの段階において市民への説明やPRを十分に行ったか。また市民からの質問に対応する方法や体制が確立されていたか。	B	CNS放送による市民への開票迅速化の取り組みの説明を行った。 チラシ配布及びCNS放送、市内大型店の協力により店内放送で選挙日、期日前投票の周知を行った。
	目標達成に向けた部局内の体制は効果に対し相応な対応であり、かつ万全であったか。(過剰な活動や予算、人員による取組みがなかったか。)	C	開票に、票読み取り機を導入して迅速化を図っている。このため開票の人数について、前回の選挙から、29人の減で行った。
	部局長のリーダーシップのもと、目標達成に向けた所管職員の意識啓蒙や部局内の風土づくりが行われたか。	B	開票リハーサルを小選挙区・比例代表に分けて行い開票事務の説明も合わせて行った。 また、今回効力審査係及び効力判定係の説明会を別に行い、正確でスムーズな判定をお願いした。
	所管職員が佐渡市行政改革マニフェストの趣旨と内容を十分に理解し、目標の達成に向けて精力的に取り組んでいたか。	C	所管職員2名で内容を協議しながら事務を進め達成に向けて努力した。

平成21年度 選挙管理委員会事務局 行政改革マニフェスト 自己検証シート

	目標達成のための行程管理や関係機関等との調整が適切に行われていたか。	C	総務課、監査委員事務局との選挙体制についての打ち合わせを行った。 連絡調整会議の中で、選挙事務の協力をお願いした。(今回は国体、トライアスロン、防災訓練等、各課事業が多い中での協力をお願いした。) 今回、支所が支所及び行政サービスセンターとなり人員も減になったため支所選挙事務の一部を総務課と協議し、本庁職員で行うようにした。
取 組 み 後 の 対 応	目標の達成に対する効果(アウトカム)の把握、または把握することの手立てをしたか。	C	支所等から選挙期間中、市民からの要望、苦情等及び選挙事務に関する意見、問題点の集約を図った。
	目標を達成していない項目については、具体的な改善策を計画し、または他の手段により対応したか。	C	効力判定が前回より早くなるよう効力審査及び効力判定の係の独自の説明会を行い、効力判定の意思統一を図った。また効力審査の人数を増やした。
	実績と今後の対応について市民に説明を行ったか。	C	開票結果についてCNS放送及び市ホームページで周知を行った。
	取り組みの過程と実績、課題点などについて部局内で話し合わせ、所管職員が状況を理解しているか。	C	前回の開票と比べると、概ね小選挙区で1時間30分、比例代表で2時間の短縮が達成できた。今後すこしでも早く市民に結果を知らせられるよう事務を見直し、改善に努力していきたい。
	実績に対する市民の質問や要望に対応する方法を確立したか。	C	市民から要望、意見があれば選挙管理委員会の中で協議をする。

3) 総評

今年度の取り組みに対する部局長のコメント

開票時間の短縮については、目標どおりとはいかなかったが前回選挙より大幅な短縮を図れた。また、開票人数も全体で29人少なく、経費の削減を行えた。今後、市民に早く結果を知らせられるよう努力していきたい。  
投票事務については、小選挙区選挙で0.19%の投票率のアップとなった。今後さらに投票率が上がるよう啓発に努力していきたい。  
選挙啓発について、今回、大型店舗の協力により店内放送での選挙日の周知、レシートへの投票日の記述などを行うことができた。

【良かった点】  
開票事務リハーサルで事務従事者に周知をはかり、問題点を精査しながら、開票事務に望めた。

【悪かった点】  
効力審査の人数を増及び効力審査係の説明会を別に行い審査係の考え方の統一を図ったが、関心のある選挙の影響か解説がしにくい票が多くあり時間がかかった。